



新実祥悟
市政クラブ

モーターボート競走 事業について

問 令和6年度のグレイドレースの予定は。

答 プレミアムG1クイーンズクライマックスを12月に予定するほか、日程は未定だがGI周年記念レース及びGIIIオールレディース、企業杯を予定している。

名鉄西尾・蒲郡線 について

問 営業継続協議の状況について伺う。

答 7年度までの運行は決まっているが、以降についての協議を進めていく必要がある。

8月に両市の市長、副市長、担当課長で協議の場を設け、にしがま線を存続させることより長く存続させるための調査・研究をすることが確認された。今後は、両市及び県と共に

三河港蒲郡地区 について

問 蒲郡ふ頭11号岸壁の現在の整備状況は。

答 港湾管理者である県により平成27年3月に供用開始され、その後、岸壁が延伸されて岸壁延長は380mとなっている。

ふ頭用地についても追加整備され、250m区間の背後約5・0haが完全供用されている。令和4年度末より、100m延伸部の背後ふ頭用地の整備が現地着手されており、今後、順次進められていくと聞いている。



名鉄西尾・蒲郡線



鈴木将浩
自民党市議団

子育て・教育に関する 情報について

問 子育て・教育に関する情報を集約したポータルサイトを開設してはどうか。

答 市民が必要とする情報を届けられるよう、ホームページの見直し検討やサブサイト活用を含めて研究していく。

問 子育てするなら蒲郡をPRするため、移住促進サイトのリニューアルをしてはどうか。

答 子育て世帯をターゲットとし、差別化を図るため、リニューアルを含め必要な見直しを進めていく。

災害ボランティアと 避難所について

問 災害ボランティアセンター開設時、市・社会福祉協議会・コーディネーターの人数や配置は明確か。

答 具体的な取り決めはできていないため、訓練等を通じて実効性のある開設体制の構築を目指していきたい。

問 災害ボランティア募集は、どのサイトに、誰が掲載するか等の詳細は決まっているか。

答 明確な取り決めはないため、災害時に発信ができるように協議を進めていきたい。

問 ペットの同行避難を想定し、各避難所でペットスペースをあらかじめ決めるべきではないか。

答 各避難所で明確な場所は指定できていないため、地域の意見をもらいながら決めていきたい。



牧野泰広
自由クラブ

鈴木市長が思い描く 蒲郡市の未来について

問 「二期目に向けた挑戦」について伺う。

答 アフターコロナとして、経営継続支援や消費喚起など幅広い業種への支援を行う。また、地域協働の推進と、伝統・文化の継承、発信の拠点となる公民館等の整備をするため基金の設立を検討している。近年増加している自然災害に対応するため地域コミュニティの再構築を実現していく。

高齢化社会における 取組について

問 スマートメーターを活用したフレイル予防事業を導入してはどうか。

答 先行して導入した自治体の状況を注視しつつ、高齢者の豊かな生活の実現や介護職の

介護認定調査員 について

問 介護の申請から認定までの流れについて伺う。

答 長寿課窓口申請書が提出された後、市の介護認定調査員が訪問調査を行い、主治医が意見書を書く。その後、東三河広域連合介護認定審査会にて認定を決定し、結果を郵送で通知している。

問 認定調査にDXを活用してはどうか。

答 広域連合内の平準化や導入費用の点から、広域連合全体での導入を検討している。

